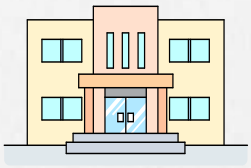
《農福連携》はじめませんか！

チェック

★農福連携とは
”**もっと働く場がほしい**“福祉と“**働き手がいない**“農業が連携し、農業者から農作業を受託する取組です。

農業分野との連携で就労の場の拡大

障害福祉サービス事業者



作業の受委託

農 業 者

農業ってどんなことするの？

・作業は、草取りや収穫等々ありますが、難しい作業は農業者が行います。

農場に通わなければならないの？”

・農業者との話し合いで、事業所の中で行うことも可能です。

＜事業所の体験談＞

収穫作業やパック詰め作業では、集中力や判断能力を養うことができた。

小麦を使用した商品開発に取り組み、クッキーとして販売を始めた。
販路を拡大し、生産量を増やしていきたい。

暑い中、同じ姿勢でしっかり取り組めるほどの体力があることがわかった。

陽のあたる環境で通年での作業ができることにより、生活のリズムが安定してきた。

作業に携わった農作物を卸先（スーパー等の野菜売り場）で見ることができ、嬉しかったと同時に責任感をもてるようになった。

＜ 発行 ＞
北海道石狩振興局産業振興部農務課

実 践 事 例 紹 介

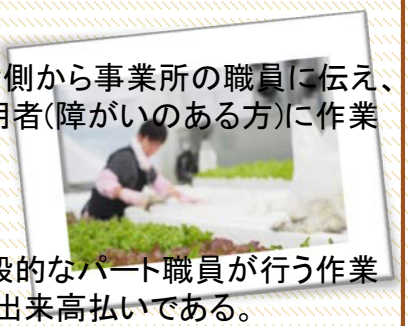
【札幌市】
障がい者活動センター アグリズム丘珠
（就労継続支援B型事業所）
＆
株式会社 アド・ワン・ファーム（農業者）

作業形態

平成23年、委託業務契約を締結。事業所は施設外就労として農作業を担っている。

作業内容の伝達方法

作業内容は、農業者側から事業所の職員に伝え、事業所の職員から利用者(障がいのある方)に作業の指示を行う。



取組のポイント等

作業の対価は、一般的なパート職員が行う作業量をベースに算出した出来高払いである。

農業者は生産や販売、事業所は事故や怪我を含めた作業の管理について責任を持ち、その範囲を明確にすることで、双方の安心に繋げている。

従来の業務の委託では同じ作業の繰り返しが主であったが、農作業では、農産物の状況により判断が必要となる場面が多々あり、障がいのある方の就労支援環境として、農業は、能力の向上や仕事をする上での判断力の訓練に向いている。

障がい者が担う仕事

- ▹ ベビーリーフの計量、トマト、パプリカのパック詰め、シール貼り、苗植え
- ▹ 水耕栽培用パネルの洗浄　　など

【江別市】
菓子工房笑くぼ
（就労継続支援B型事業所）
＆
山田富彦氏（農業者）

作業時期

6月～10月までの間、週2回、事業所の送迎により農場で作業を行っている。

作業内容の伝達方法

作業内容は、農業者側から事業所の職員に伝え、事業所の職員から利用者(障がいのある方)に作業の指示を行う。

取組のポイント等

農場内に事業所の農園スペースを作り、障がいのある方だけで作物を育てている。労働力の提供のためだけに農場に来るのではなく、生産の喜びを感じてもらいたいとの思いがある。

「人としての付き合いを大切にしながら障がいのある方と向き合うことが重要」と考えている。

事業所では、農業者の指示によりトウモロコシの苗植え、草取り、収穫をして、札幌市のチカホで開催した「ノウフクマルシェ」での販売を行った。また、収穫したトウモロコシを加工して、事業所が運営するカフェにおいて、コーンスープにも使用している。

障がい者が担う仕事

- ▹ アスパラ、にんじん、レタス等の草取り
- ▹ 野菜の収穫　　など

◆ご相談・ご質問は、次の機関へお気軽にご連絡ください

■北海道石狩振興局産業振興部農務課
〒060-8558　札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館
TEL 011-204-5845（農業経営係 直通）

■石狩農業改良普及センター本所
〒061-1356　恵庭市西島松120-13
TEL 0123-36-8083

■江別農福連携協議会
連絡先：酪農学園大学 農食環境学群循環農学類作物学研究室　義平大樹
〒069-8501 江別市文京台緑町582-1
TEL 011-388-4785（直通）　FAX 011-387-5848